

別紙標準様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	平成22年度 第2回枚方市環境審議会環境基本計画改定部会
開催日時	平成22年 9月 7日(火) 10時00分から 12時00分まで
開催場所	市役所別館 第4委員会室
出席者	部会長：三輪委員、副部会長：下野委員 稲森委員、今田委員、田中隆夫委員、野田委員、増田委員、丸井委員
欠席者	田中みさ子委員
案件名	1. 審議案件 (1) 枚方市環境基本計画に基づく主な取り組みについて (2) 基本目標について (3) 施策の体系について 2. その他
提出された資料等の名称	資料1 枚方市環境基本計画に基づく主な取り組みについて 資料2 基本目標について 資料3 施策の体系について
決定事項	・基本目標（案）や施策の体系（案）について審議した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	1名
所管部署 (事務局)	環境保全部 環境総務課

審 議 内 容

1 開 会

三輪部会長： おはようございます。それでは定刻になりましたので、平成22年度第2回環境基本計画改定部会を開催します。本当に暑い中、ご出席くださいます。ありがとうございます。それでは事務局に本日の部会の出席状況をご報告いただきます。

事務局： 本日の出席委員は、委員定数9名のうち、8名の委員の出席をいただいていますので、枚方市環境審議会規則第4条第2項に基づきまして、本部会が成立していることをご報告申し上げます。

2. 議 題

三輪部会長： それでは本日の案件の枚方市環境基本計画に基づく主な取り組みについて、まず事務局からご説明をお願いいたします。

事務局： 「枚方市環境基本計画に基づく主な取り組みについて」（資料1）について説明

三輪部会長： ありがとうございます。これまでの現行の環境基本計画の実施状況をご説明いただいた訳です。何かご意見やご質問ございましたら、自由にご審議いただきたいと思います。

稲森委員： 環境基本計画の実施状況の中で、これまでの実績として「指導を行いました」という表現が随所に出てきます。例えば「特定建設作業を行う事業者に対する指導」など、その後の結果はどうなっているのですか。

事務局： 解体工事等を実施する際、騒音規制法等に基づき事業者が事前に届出を行っており、必要に応じて騒音・振動の低減化を図るよう指導を行っています。その結果、騒音・振動の低減化が図られていると考えております。また、苦情等があった場合は、適切に指導を行っています。

稲森委員： 「農業ふれあいツアー」は、具体的にどんなことをされて、どのような結果だったのでしょうか。

事務局： 市内の農家の方が栽培した農作物を市民の方に収穫する等の体験を通して、農業への理解を深めてもらっています。広報で参加者を募集するとすぐに予約が埋まるくらいの人気です。ふれあいツアーは、農業をされている方にとっては、収穫してもらうことにより手間が減り、子供たちにとっては収穫する楽しみを体験できる内容だと聞いています。春夏秋冬、何かやっています。

稲森委員： 野菜の種類というよりは、市民がふれあいツアーに参加したことにより、どのように農について深く考えるきっかけになったのかを知りたいのですが。

事務局： 農政課長によると、アンケートをとった結果、また来年もして欲しいと

いった内容が多かったそうです。

丸井委員： 現行の基本計画の体系の整理が非常にまずい感じがします。今改めて読み直してみても、現行の基本計画の体系でどうだったのかという感想、考えをお聞きしたいです。

三輪部会長： 事務局から感想・考えをお願いします。

事務局： 環境教育、地球環境、自然環境の分野において、現行の基本計画を策定した状況と変わってきていますので、何らかの形で次期基本計画に反映させていかないといけないと考えております。

丸井委員： 今のお答えですと、施策の体系の整理が、新しく作る計画には必要だと感じていると私は受け止めていいのですか。

事務局： 基本計画の第3次実施計画をベースに、先程の3点について付け加えていくだけでなく、それ以外でも新たに追加・変更していかなければいけない部分があると考えております。

丸井委員： 現行の基本計画にベースをおいて、そこに微調整を加えていくようなもので果たしていいのでしょうか。根本的に基本目標・考え方は改めなければいけないと思います。環境に配慮した行動を、市民に対して啓発していくことの方が重要なのだという視点を盛り込んだり、これから水が重要になってくる時代に、貴重な地下水の利用についても一律に禁止ではなく、どういう風なルールを作っていくのか、といった根本的な施策について考えていかなければいけないと思います。そういう意味でこの体系で果たしていいのかというのをお聞きしたかったのです。

三輪部会長： 今回は基本計画という領域内での話ですので、今日は話に出ませんが、今後主な施策のイメージとか、それに付随して今後色々議論が始まってくるので、今いただいたご意見については、その時にまた大切に扱わせていただきたいと思います。他はいかがでしょうか。

今田委員： 市はいろんな事業をやっている、結果がでるには時間がかかるので継続するということが非常に大事だと感じました。

以前からダイオキシンの問題がありますが、今ダイオキシンを出す焼却炉はどれくらいありますか。もともと何台あったものが、どれくらい減っているのですか。

事務局： 詳しい数字は分かりませんが、ダイオキシンが問題になった当時、学校や各家庭にも焼却炉がありましたが、基本的に廃止され、現在は家庭や学校にはおそらく焼却炉はないと思います。市が所有する焼却炉についてもダイオキシンに関する規制があり、それを遵守する形で適切に管理を行っています。現在、焼却炉を設置しようとする場合、ダイオキシンの規制に適合した焼却炉しか販売されていません。設置には全て届出が必要ですので、それについて大阪府や枚方市が立ち入り検査をして基準が満足できているかどうかの確認をしています。

今田委員： 「指導しました」「検証しました」に数値結果を書くことによって、読む方にインパクトを与えられるのではないのでしょうか。

東京などでは土日になると学生さん達がフリーマーケットに集まっていますが、枚方市の駅前などでもフリーマーケットなどをやる場を提供してあげればいいのではないのでしょうか。そこでホームページに掲載しているようなことをその場で宣伝することもできるのではないのでしょうか。

三輪部会長： 今田委員と丸井委員に共通するのは、どれだけ改善をしたのか、数字が見えるようにすればわかりやすくなるのではないかということだと思います。

フリーマーケットについては施策としてどこかで取り上げていかれるかもしれませんが。それは実行計画の中で考えていくべきかもしれません。他はいかがでしょうか。

稲森委員： この資料の中に例えば「桜をずっと植えています」という内容が記載されていますが、こういう具体的なことについて、後ほどまた議論をする機会はありますか。

事務局： 本日は資料2に「主な施策のイメージ」という形で出させていただいておりますが、基本施策のご審議の後に、おそらく第3回の改定部会以降になるとと思いますが、施策の方向性などの部分について、議論していただきたいと考えております。

野田委員： 前回の改定部会で課題の中身が分かりやすく、施策の抽出をして欲しいとお願いしました。今回の実施状況の説明だけでは判断がしにくいので、課題の結果について改めて議論できる場を設けて欲しいと思います。

全体の市の施策として、主体が市民参画となる場所が多くなっています。市民として、これに関わるとどこにつながるのかということが見えてくるのが非常に大事です。複数あるボランティア団体の人たちとの関係をどう上手くつないで整理していくかが大事ですので、きちんと整理できるような形に持っていきたいと思います。

三輪部会長： その方向で取り組んでいただきたいと思います。

続きまして、事務局の方から「資料2」、「資料3」についてのご説明をお願いします。

事務局： 「基本目標について」（資料2）及び「施策の体系について」（資料3）について説明

三輪部会長： 「基本目標と施策の体系」についてご説明いただきましたが、何かご質問やご意見がございましたら、自由にご審議いただきたいと思います。

今田委員： 資料3では生活環境に関するものが表に出てきていますが、施策のイメージくらいは工場、事業所などの工業、商業の文言を入れた方がいいのではないのでしょうか。

事務局： 資料3でお示している主な施策のイメージは、資料1にお示ししていま

す施策の方向のレベルではなくて、もっと大きな括りで書かせていただいています。

今田委員： 枚方市は商業なども結構多いと思うのですが、工場だけでなく事務所のエネルギーはすごく使います。そういうイメージがわかるように入れてもいいのではないかと思います。

事務局： はい。

増田委員： 主な施策のイメージに「野生動植物の保護」とありますが、保護だけではなく、野生保護の数の適正化みたいなことも含めてほしいと思います。

また、大気環境保全の中に騒音は入らないのですか。わざわざ分ける理由はあるのでしょうか。

基本目標と施策のイメージのところで交差して効果の上がるものがいっぱいあるので、テーマを出す時に枚方がどんな枚方なのか、イメージがわくような戦略的な施策が一つあるといいなと思います。

事務局： 重点項目、重点施策のような感じでしょうか。

増田委員： そうです。重点施策のイメージで枚方らしさがちょっと入ったほうがいいかと思います。

三輪部会長： 総花的に一覧になっているので、実際に本当に枚方の環境としていい方向に向かっていくかというところでは戦略的、重点的などがクリアになっていかないと難しいと思います。それはまた丸井委員がおっしゃったように体系の整理が大事だと思います。他はいかがでしょうか。

稲森委員： 基本目標について3つ目の「環境への負荷が少なく、持続的に発展していくまち」が改定されて「環境に配慮された快適な都市環境が確保されたまち」とありますが、現行の計画で「持続することが可能な社会」というのは非常に大事で、基本目標としての骨だと思いますので改定案でも抜かしてはいけないと思います。

「地球環境保全」の改定案の方は廃棄物の抑制やエネルギーの有効活用、低炭素型の社会システムということが書いてあるのですが、目標については先程と同じく、「地球温暖化の防止」という一番大きな骨をこの目標の文言から抜くのはよくないのではないのでしょうか。

「自然環境」について、「自然とのふれあい」という言葉がいくつか出てきていますが、自然とのふれあいとは何なのか分かりにくい。本来「自然との共生」を意味すると思うので、「自然とのふれあい」ではなく「自然との共生」という言葉を使った方が市民には分かりやすいのではないかと思います。

三輪部会長： 改定案の文言についてご考慮していただきたいと思います。他はいかがでしょうか。

下野副部会長： 基本目標の中に、枚方に住んでいる全ての人が環境に対してきちんと配慮して行動できるようになれば、こういうことを達成できる、といったこ

とを目標に挙げるというスタイルはとらないのでしょうか。

事務局： スタイル的には、資料では基本的には4つ挙げていますが、ご指摘のような形の部分が当然必要だと考えています。それについては、全体の基本目標や基本施策などにかかっていますので、この体系の基本目標と並列に掲げてしまいますと、少しいびつになるかと思っておりますので、他の形で計画の中には盛り込んでいきたいと考えています。

三輪部会長： それは例えばテーマの中で表れてくるということもありえるのですか。

事務局： そうですね。テーマの中で表して個別のプロジェクトなり重点計画なりで、そういう形のもを計画の中に入れていくことも考えられます。

三輪部会長： そういう理解でよろしいでしょうか。他はいかがでしょうか。

丸井委員： テーマの下に理念が入るかと思っておりますが、全体に関わることはきちんとどこかに明記していただきたいと思っております。案にされている文言がどの程度までこのままの形で、文章、語句を含めて出来上がっていくのかというのに非常に不安があります。文言の修正について、この言葉を入れてほしいとか、使わないでほしいというところをこの場で私たちが言うものなのかどうか分かりにくいのですが。

事務局： 各委員のご意見につきましては、入れていけるものについては、反映させていきたいと考えております。最終的に施策レベルまでブレイクダウンしていったら、基本目標のフレームが変わってくることもありますので、そうしたご意見を含めて、検討するための材料にさせていただきたいと思っております。

三輪部会長： 進行としては、もう少し皆さんが具体的な文面を見ながら言い合える場面が割りと早い段階で欲しいということではないかと思っております。

今田委員： 市役所なので一般的な考えが当てはまらないかもしれませんが、数字が出てこないのが、インパクトが少ないように感じます。何かインパクトのあるようなものや後から見て評価できるようなものが、この中に1つでも2つでもあれば、測定、評価できると思っております。

三輪部会長： もう少し話の材料になれるような文章が比較的早い段階で出ると、ここをこうしたほうが良いというような議論が出来るということですね。

丸井委員： 例えば、基本目標の一番下の「環境への負荷が少なく、持続可能な社会システムが構築されたまち」を見ると、システムなどに特化してエネルギーの有効活用と廃棄物の発生抑制という切り口だけの具体施策になってしまわないかという不安があります。この目標に対して、意味するところやこういうイメージの環境を目指しているのだということを私たちがわかるようなもう少し充実した内容にして欲しいです。

三輪部会長： ご検討願いたいと思っております。

議論がつかせませんが、そろそろ時間も参りました。数々の大本になるご意見をいただきましたので、それを事務局にご検討いただきたいと思いますと思いま

す。それでは最後に「その他」について事務局、いかがでしょうか。

事務局： 事務連絡として、部会の日程調整をさせていただきたいと思います。(日程調整)

3 閉会

三輪部会長： それでは本日はどうもありがとうございました。本日はこれで閉会します。